

殺菌剤

オリゼメート[®] 粒剤 20

空と大地、
あらゆるシーンに
対応するいもち剤

大型規格で
お買得!!
(20kg 入り)

殺菌剤分類 P2

ヘリコプター散布



動噴・手撒き散布



直播栽培の土中処理



移植時の側条施用



薬剤と肥料が散布された様子
※実際には覆土されます

オリゼート® 粒剤20

有効成分:プロベナゾール…20.0% 人畜毒性:普通物※ ※毒劇物に該当しないものを指している通称

特長

- 1 稲の病害抵抗性を誘導し、いもち病に対して高い効果を示します。
- 2 各種薬剤耐性いもち病菌に対して有効です。また病原菌に直接作用しないため、耐性菌出現の可能性が低いです。
- 3 動噴や手撒きによる散布、ヘリコプターによる散布、移植時側条施用、直播時の土中処理など、あらゆる散布場面で使用できます。

適用病害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
灌水直播水稲	いもち病	1kg/10a	は種時	1回	は種同時施肥機を用いて土中施用する。	2回以内 (は種時までの処理は1回以内)
移植時			側条施用			
稲			収穫14日前まで	2回以内	空中散布	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
					無人航空機による散布	
散布						

⚠ 効果・薬害等の注意



- 空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守って下さい。
 - ① 散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
 - ② 無人航空機による散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
 - ③ 無人航空機による散布に当っては事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
 - ④ 本剤は湛水状態(湛水深3~5cm)でまきむらのないように均一に散布し、散布後少なくとも4~5日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らせたりしないように注意し、また散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。
 - ⑤ 散布薬剤の飛散によって他の動植物等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意して下さい。
 - ⑥ 水源池、飲料水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。
 - ⑦ 散布終了後は次の項目を守って下さい。
 - a) 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄して下さい。
 - b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理して下さい。
 - ⑧ 本剤は予防的に散布した場合に有効です。葉いもち防除の使用適期日は、初発の7~10日前なので、発生予察情報に注意して時期を失ないように散布して下さい。穂いもち防除の使用適期は、出穂の3~4週間前です。
- 移植時に使用する場合は、次の注意を守って下さい。
 - ① 専用の移植同時施肥機を用い、側条施用して下さい。
 - ② 移植後は湛水状態(湛水深3~5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意して下さい。
 - ③ 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予想される場合には使用しないで下さい。
- は種時に使用する場合は、直播栽培に使用し、専用のは種同時施肥機を用いて下さい。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用を避けて下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けて下さい。

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ／ご注文は